



洗足学園音楽大学ファンファーレオーケストラ

第 29 回定期演奏会

2020年11月20日(金) 19:00開演 (18:30開場)

洗足学園音楽大学 前田ホール

Program

W.ウォルトン (庄司 燦 編曲) / 戴冠式行進曲「宝玉と王の杖」

William Walton (1902-83) // Arr. Akira Shoji // Coronation March "Orb and Sceptre"

B.アッペルモント / ファンファーレ・フォー・ア・フレンド

Bert Appermont (b.1973) // Fanfare for a Friend

G.ホルスト (庄司 燦 編曲) / 組曲「惑星」作品 32 より “木星”

Gustav Holst (1874-1934) // Arr. Akira Shoji // Suite "The Planets" Op.32 Jupiter - The Bringer of Jollity

～休憩～

J.ヴァンデルロースト / オスティナーティ より

Jan Van der Roost (b.1956) // Except from "Ostinati"

E.エルガー (庄司 燦 編曲) / エニグマ変奏曲 Op.36

Edward Elgar (1857-1934) // Arr. Akira Shoji // Enigma Variations Op.36

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

Profile

指揮者：松元 宏康 *Hiroyasu Matsumoto*

東京都生まれ。幼少よりピアノ、エレクトーンを学び、洗足学園音楽大学ならびに同大学附属指揮研究所マスターコースを経て、仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者に就任し、プロ指揮者としてのキャリアをスタートさせた。これまでに仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、千葉交響楽団、広島交響楽団、日本センチュリー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢、九州交響楽団、大阪交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、シエナウインドオーケストラなどへ定期的に客演し、年間のコンサート出演は70公演以上を数える。指揮法を秋山和慶、河地良智、増井信貴の各氏に、スコアリーディングを島田玲子氏に、クラリネットを松代晃明氏に師事する。現在、琉球フィルハーモニックオーケストラ正指揮者、ブリッツフィルハーモニックウインズ音楽監督、洗足学園音楽大学講師。(コンサートイマジン所属・東京都在住)

Program

W.ウォルトン (庄司 燦 編曲) / 戴冠式行進曲「宝玉と王の杖」

英国人の作曲家であり、指揮者でもあるサー・ウィリアム・ターナー・ウォルトン(1902-83)はイングランド北部の音楽一家に生まれた。この曲は、1952年ウォルトンが50歳の時にジョージ6世の娘であるエリザベス2世の戴冠式の行進曲として作られた作品である。この曲のタイトルは、王の力を表わす2つのシンボルを意味していて、戴冠式の中で重要な役割を果たす。宝玉(Orb)とは、小さな十字架の下に球体が付いているもので王の庇護の下にあるこの世界を神が支配していることを表している。また王の杖(Sceptre)は王の権力と正義を表している。

この行進曲にはエルガーの「威風堂々」の影響をはっきりと感ずることができる。トランペットによる華やかなファンファーレから始まり、重厚なシンコペーションと華やかなオーケストレーションの行進曲が続ぎ、穏やかな中間部トリオの部分へと移る。初めは柔らかな音色で畏敬の念を持った主題が演奏され、その後同じ主題が、さらに威厳さを増して繰り返される。中間部が終わると、シンコペーションのリズムや不協和音など、ウォルトンのジャズからの影響を感じる旋律が続ぎ、その後は中間部の主題の再現部が現れ、さらに荘重に誇りと歓喜を持って歌い上げられる。

フリーゲルホルン 4年 井上 優希

B.アッペルモント / ファンファーレ・フォー・ア・フレンド

ベルト・アッペルモント(b.1973)はベルギー・リンブルフ州ビルゼンに生まれ、ルーヴェンのレメンス音楽院に入学し、ヤン・ヴァンデルロースト等に師事し作曲、指揮を学ぶ。1998年に同校卒業後、作曲家として活動を始める。近年では日本の吹奏楽団体においても作品を演奏される機会が増えており、若手作曲家として注目されている。彼の代表作には「ノア方舟」「ブリュッセル・レクイエム」等が挙げられる。

この曲は、ブラスアンサンブル Musica Mosana の為に入門作品として作曲した。主題を示す華麗なファンファーレで曲は始まり、その後主題と対極的なパートが入り、曲は盛り上がりを見せる。そしてリズムカルな伴奏に対して演奏されるメロディックなテーマが続く。さらに終盤にかけて二つの対極的なテーマが登場し、壮大なフィナーレを迎えるのである。

打楽器 2年 大塚 愛美

G.ホルスト (庄司 燦 編曲) / 組曲「惑星」作品32より“木星”

グスターヴ・ホルスト(1874-1934)はイギリスの作曲家。木星はホルストの代表曲である組曲「惑星」の中の一。1914年から16年の間に2台のピアノのために書かれ、1917年から管弦楽曲への編曲に着手。1920年に正式に初演された。この曲が収められている惑星は、7つの楽章からなる組曲である。ホルストは作曲当時、占星術に傾倒しておりこの組曲は占星術の神秘性からインスピレーションを受けて作曲されている。しかし占星術からヒントを得ているものの、ホルストはこの曲を標題音楽ではないとしており「各自の副題に自由にイメージを膨らませて聴いてほしい」と語っている。木星には「快樂をもたらす者 The Bringer of Jollity」という副題が付けられている。Jollityとは「陽気で快活なユーモアに富んだ感情」という意味であり日本語訳の「快樂」とは少し異なる。ホルストは「国民的行事や宗教的祝典に結びつくような儀礼的な喜びを表現している」と解説している。 今回はファンファーレオーケストラ編曲でお届けする。

ホルン 2年 西川 宗辰

J.ヴァンデルロースト / オスティナーティ より

ヤン・ヴァンデルロースト (b.1956)は、ベルギー出身のトロンボーン演奏者、指揮者である。合唱指揮をロジャー・レーンスに、作曲をウィレム・ケルステスに師事。現在は、レメンス音楽院で教鞭を執るほか、洗足学園音楽大学の客員教授も務める。作品はすでに世界50ヶ国以上で演奏、録音されており、自らの音楽活動は5大陸、40ヶ国以上に及ぶ。ベルギー・ルーヴァンのレメンス音楽院で後進の指導にあたる。また、ヨーロッパ諸国、アメリカ、日本、シンガポールからの委嘱依頼を含め、テレビ、ラジオ放映やCDリリースも多数なされている。

この曲は洗足学園音楽大学が委嘱した作品である。ファンファーレバンドのサクソルン属とサクソフォーンの柔らかく艶のある響きにトランペット、ホルン、トロンボーンの華やかさが加わった独特のサウンドと色彩感が明瞭、かつ最大限に生かされたものである。2011年6月、本人自身の指揮にて洗足学園音楽大学ファンファーレバンドの演奏で初演されている。

サクソフォーン 3年 黒澤 望愛

E.エルガー (庄司 燦 編曲) / エニグマ変奏曲 Op.36

エドワード・エルガー(1857-1934)は、イングランドのブロードヒース生まれの指揮者、作曲家である。元は音楽教師であり、ヴァイオリニストでもあった。

「エニグマ変奏曲」というのは通称で、正式な表題は「創作主題による変奏曲」である。『エニグマ』という言葉はギリシャ語で『なぞなぞ』『謎かけ』という意味であり、この曲には2つのエニグマが存在している。1つ目は「この変奏曲は、主題とは別の、作品中に現われない謎の主題も使われている」というエルガー本人の発言に基づいたものである。2つ目は主題以降の14の変奏曲に当てられている。各曲には彼の親しくした人々のイニシャルや略称を示し、それぞれのキャラクターを表現し構成されている。

B♭ベース 3年 岡田 侑也

Member

Concert Mistress	井上 優希				
Soprano Saxophone	秋山 圭輔	今川 萌	岡本 彩花	中條 花音	
Alto Saxophone	竹澤 歩実	水島 梨佐子	黒澤 望愛	寺東 春美	川口 華菜
Tenor Saxophone	金 樹治	辻 水紀	岡本 真尋	兼重 未唯	
Baritone Saxophone	望月 栄賜	藤堂 紗也	北岡 舞帆	久米 愛海	
E♭ Cornet	荒木 優花	河野 誉志弥	田頭 蓮	冨永 倫	
Flugelhorn	飯塚 亜実	井上 優佳	高倉 綾乃	千葉 美紅	
	伊吹 梓	丸岡 三希子	森 猛流	芦川 大樹	
	江原 春香	岡見 涼香	濱田 ほむら	藤田 雄大	
	渡辺 寛子				
Trumpet	大川原 成美	門脇 克	長田 彩希	植田 優花	宇津木 清来
	佐々木 右京	細谷 侑生			
French Horn	江口 千夏	霜村 萌	小秋元 歩	浅田 万結	西川 宗辰
	半崎 愛理	山口 亜希菜			
Trombone	加賀美 柚帆	高木 理子	平沼 聖天	HSIEH MU YANG	
	出田 希乃	永吉 彩花	林 剛潤	平野 結梨香	三浦 健
Baritone	高原 百合香	谷田 果奈美	加藤 千聖		
Euphonium	春原 佑香	石倉 雄太			
E♭ Bass	重水 大輝	豊田 真悠子	渡部 陽菜		
B♭ Bass	石田 健悟	岡田 侑也	齊藤 徹也		
Percussion	岫 明花音	半田 柊成	山本 佳怜	脇坂 詩織	星野 啓祐
	小栗栖 未久	北野 佑芽	馬島 啓	松井 菜々子	大石 水紀
	大塚 愛美	金正 紗也加	近藤 寛斗	田代 万莉子	丹 健汰郎
	栃下 紗奈	中嶋 遼	星 陽華	前田 歩都	前田 伶弥
	村上 愛佳	八木 優弥	横木 秀真		
Organ	中澤 未帆*				
Harp	伊藤 美与子*				

*...演奏補助要員

企画運営責任者 露木 薫

副責任者 岩本 伸一 滝澤 尚哉

指導教員 松元 宏康 成田 徹 貝沼 拓実 上田 仁

神代 修 古田 賢司 本間 千也 五十畑 勉

久永 重明 池上 亘 菅 貴登 府川 雪野

山口 隼士 新井 秀昇 岩黒 綾乃 齊藤 充

荻野 晋 次田 心平 渡邊 功 中村 祐子

野本 洋介

助手 湊 佳那子

アカデミックコーディネーター 海野 匡代